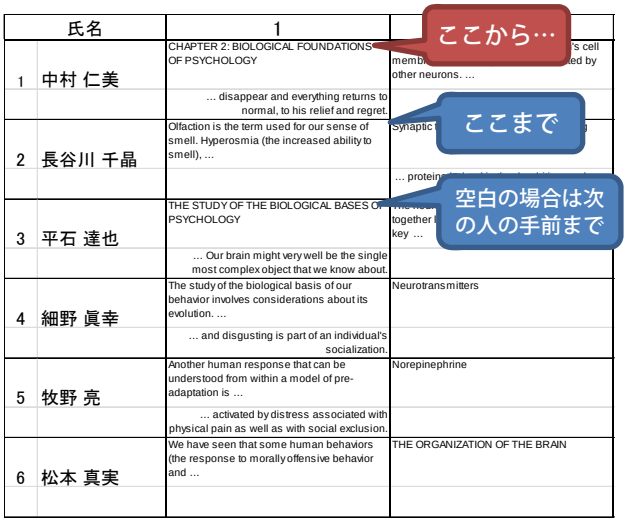
基礎演習 割り当て表の読み方



	氏名	1	
1	中村 仁美	CHAPTER 2: BIOLOGICAL FOUNDATIONS OF PSYCHOLOGY … disappear and everything returns to normal, to his relief and regret.	's cell membr… ed by other neurons. …
2	長谷川 千晶	Olfaction is the term used for our sense of smell. Hyperosmia (the increased ability to smell), …	Synaptic t… … protein…
3	平石 達也	THE STUDY OF THE BIOLOGICAL BASES OF PSYCHOLOGY … Our brain might very well be the single most complex object that we know about.	… together … key …
4	細野 眞幸	The study of the biological basis of our behavior involves considerations about its evolution. … … and disgusting is part of an individual's socialization.	Neurotransmitters
5	牧野 亮	Another human response that can be understood from within a model of pre-adaptation is … … activated by distress associated with physical pain as well as with social exclusion.	Norepinephrine
6	松本 真実	We have seen that some human behaviors (the response to morally offensive behavior and …	THE ORGANIZATION OF THE BRAIN

別紙の割り当て表について説明します。右図は表の一部を抜粋したものです。

基本的に、自分の割り当て範囲は「マスの左上から右下まで」と考えてください。たとえば、中村さんは CHAPTER 2 の最初から「… disappear and everything returns to normal, to his relief and regret.」という文章までとなります。そして続きの部分が長谷川さんの担当になります。以下、学生証番号順に割り当て範囲が進んでいき、渡邉美琴さんの担当範囲が終わると 2 周目に入り、中村さんの 2 回目の発表に続いていきます。3 周目以降も同様です。

ところで、長谷川さんの 1 回目の担当部分を見ると、左上の開始位置は書いてありますが、右下の指示がありません。この場合は、「次の人の開始位置の手前まで」と読んでください。つまり、長谷川さんの次の平石君が「THE STUDY OF THE BIOLOGICAL BASES OF PSYCHOLOGY」というセクションから担当することになっているので、長谷川さんの担当範囲はその手前まで、ということになります。このように、切りのいいところで担当範囲が受け継がれる場合、右下の指示がなくなります。一人 1 セクションあるいは 1 項目などの決まりはありません。あくまでも、「次の人の手前」までです。自分で勝手に終了位置を決めつけないように気をつけてください。

ある程度切りの良さを優先するため、人によって担当範囲の分量が増減します。ですが、累積でどのくらいの量を分担しているかをこちらで管理していますので、今回の担当範囲が多ければ、次かその次あたりに短い範囲の割り当てがくるだろうと思ってください。

初回の授業は全員が 1 回目の発表を終えた時点で終わりにしますが、2 回目以降の授業では、全員の発表が終わっても時間いっぱいまで続けていきます。従って、その日の最初の発表者は 2 度目の発表が回ってくる可能性を考えておいてください。

発表が回ってきた時点で訳文が用意できていない場合は、無断欠席と同様に扱います。

授業が進むうちに、ある程度は進行速度についての読みができてくると思いますが、予想外の展開になったとしてもこちらは関知しませんので、そのつもりで余裕を持って準備してください。

訳文の作り方は前期に配ってある柳の訳文（第 1 章第 1 ページ）の体裁に従ってください。自分の担当範囲に引用文献がある場合は、テキストの最後にある文献リストから該当する文献情報を訳文の最後に載せてください。また、心理学辞典等で専門用語を調べた場合は、訳文の脚注でその意味を説明してください（説明の最後に「辞書名（出版社）」を書いてください）。辞書の説明が長い場合は現在の文脈に照らし合わせて適当な範囲を抜粋すれば十分です。